

林 紀義 (6期生)



昭和30年、美唄には三井、三菱の二つの炭鉱があり、人口は10万人もいたそうですが、今は3万人(今年2万)くらいです。産業は農業が主で、マガンの飛来地として紹介されています。札幌から60キロの距離です。日本一長い直線道路(リニヤロード)が街の真ん中を走っています。[ここまでは平成12年4月支部ニュース81号の一部を転載]

さて、今回の「クラブ紹介」は「新型コロナウイルス」の影響で、クラブの例会休会中で再開の目途もたっていません。しかし「8月号」の発行は迫って来ます。ということの内容の乏しい「クラブ紹介」の言い訳にさせてください。

吉田陽子さんが藤田太刀郎氏に懇願し、1995年に創立、1996年S協入会でスタートしました。当時、クラブの何人かがコーラーに挑戦されたようで、2000年に入会させてもらった「6期生、新関・林」は吉田さんに初心者講習をしてもらいました。後に、遠藤章子さんに「Plus」の補習をして頂いた

り、本田さんにもコールをかけてもらいました。アリガトウございました。2012年からは栗村仁史氏の優しい指導を受けています。

支部行事の主管もいくつか担当しました。最も印象深いのは「第26回北海道ジャンボリー」で美唄に会場・ホテルが取れず、定山溪・ミリオナーまで出かけました。

S協からコーラーさんを依頼できる最後のジャンボリーということで、広島「原井・荒木」さんに、お願いしました。快諾をいただいたのは良かったのですが、天候に恵まれず、当日広島は台風にぶつかり、原井さんは消防関係の仕事で「トマリの勤務」になるかも、という連絡があったり、荒木さんの飛行機も遅れましたが、夕方までに無事二人の元気な顔を見て安心しました。

懇親会では、リニヤロード会員全員で「美唄音頭」の踊りを披露しましたが、予想以上に好評でした。でもオミヤゲつきの抽選会のほうがもっと盛り上がったようでした。

リニヤロードではクリスマスパーティーを一部オープンにして、今年10回目を迎える予定です。クラブ創立25周年にもあたるのでアニバーサリーの形にしたい、と密かに考えていたのですが、新型コロナウイルスの一日も速い終息を念じています。11月25日に奇跡が起きたら、美唄まで足を運んでください。



## 例会案内

日 時：毎週(第3週は原則休会)木曜日  
 時 間：12:30～15:00  
 場 所：美唄市公民館(Tel.0126-63-2185)  
 住 所：美唄市西4条南1丁目  
 連絡先：新関 妙子(Tel. 0126-64-4141)